



# みんなの がっこうの どうぶつ

2014 年 月 8 月中旬  
第 6 号

発行責任者：公益社団法人 栃木県獣医師会 南支部 学校飼育動物委員 すずき しげゆき  
☎0285(41)0323 fax0285(41)0322  
電子メール [suzuki@brace-ah.jp](mailto:suzuki@brace-ah.jp)



## この号の内容

- 1 全国学校飼育動物研究大会の案内
- 2 根拠に基づく動物飼育 脳科学2
- 3 飼育舎を工夫する 汚くないウサギ

## 1. 全国学校飼育動物研究大会の案内

8 月 30 日（土曜日）東京大学弥生講堂 一条ホールにて、第 16 回全国学校飼育動物研究大会が開催されます。全体テーマ「学校・園が楽しくなる動物飼育」

文部科学省教科調査官・道徳担当 赤堀 博行先生による、「豊かな人間性の育成に資する動物飼育」と題して基調講演があります。その他にも、口頭発表、パネル発表、動物ふれあいなどが予定されています。当日参加もできますので、奮ってご参加ください。詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

<http://www13.plala.or.jp/schoolanimals/16kaikettei.pdf>



## 2. 根拠に基づく動物飼育 脳科学2

前号の続き・・・人間の赤ちゃんや子犬、子猫などを見て、「かわいい」と感じる感情は、「母性本能」や「労り本能（弱っている者をまもる）」と関係した感情です。この感情は、哺乳類脳の部分が司っています。

人間の脳は、「種の存続」や「集団の存続」のために、母性・労り本能の延長線上に「共感する習性」も本能として兼ね備えています。



「かわいい」と感じると、自然と触りたくなるのは、本能。子供達には、その本能が備わっている。

★人間の脳は、「種の存続」や「集団の存続」のために、母性・労り本能の延長線上に「共感する習性」も本能として兼ね備えている。

★「いじめない」とか「助ける」という思いやりの行動を引き出すには、「母性・労り本能」や「共感の習性」を強化する必要があるかもしれない。



本能的に発動する部分との連携は、人間に於いては、最終的には論理的感情である「弱者の保護」という感情に集約して繋がります。

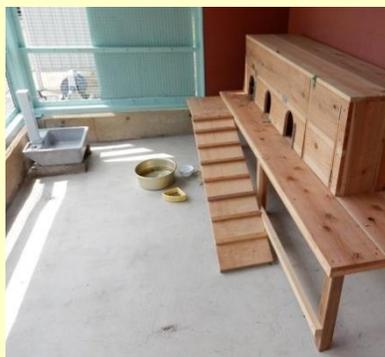
「いじめない」とか「助ける」という思いやりの行動を引き出すには、哺乳類脳にある「母性・労り本能」や「共感の習性」を強化する事を抜きにしては得られないのかもしれませんが。

- ★汚くないウサギであるための対策は・・・
- ★穴を塞ぐ
- ★飼育舎の不要なものを撤去する
- ★砂を入れる
- ★日中の居場所と夜の居場所を別々にする

下図、砂を敷いている飼育舎



下図、コンクリート床の飼育舎



### 3. 飼育舎を工夫する 汚くないウサギ

学校で飼育しているウサギを抱っこすることに抵抗感はありませんか？「汚い」とか「汚れる」と感じることはありませんか？

先生方がそう感じているのと同様に、子供たちもそう感じている事と思います。

「糞」、「尿」そして「土」は、不衛生の代名詞の様なキーワードですから、そのように感ずることも十分理解できます。

では、どのような工夫をしたらよいでしょう。答えは簡単です。土を排除し、コンクリートの床に変え、毎日水で流して、デッキブラシで清掃すればよいのです。ですが、そう簡単に実行できないことは私も知っています。

その対策は、動物の数が少ない事(排せつ物の量が少ないので)も大切ですが・・・

A.穴を塞ぐ(ウサギ)・・・掘り始めたら、即座に埋め戻す。(清掃しやすくする)

B.飼育舎内の不要なものを撤去する(ウサギ、鳥)・・・目的のはっきりしない物、使われていない物を撤去し、出来るだけ簡素な、清掃しやすい平面状態にする。(清掃しやすくする)

C.土の上に砂を入れる(ウサギ、鳥)・・・砂は尿をすぐに吸い込みますから、表面が乾燥しやすく、糞を集めるのにも集めやすいです。定期的に十分な量の砂を補充します。(清掃しやすくする)

D.日中の居場所と夜の居場所を別々にする(ウサギ、鳥)・・・朝から夕方までは、子供たちに近いところでサークル(ウサギ)やゲージ(ウサギ、鳥)で過ごし、子供たちが家に帰る頃、動物たちも飼育舎に帰る。動物が飼育舎にいる時間が短くなると、排せつ物の量も減り、また、動物がいない飼育舎は清掃しやすいです。更に、動物との距離が近くなることで、良い影響を得られやすくなると思います。

ウサギは本来、夜行性なので、その習性に配慮し、日中の居場所には巣箱(段ボールでも OK)やパイプトンネル等の休息できる場所を設置するようにしてください。

段ボールを利用した、巣箱やパイプトンネルを子供たちに作ってもらう事も、良い効果を得ることにつながると思います。

獣医師会のホームページに学校飼育動物のページができました！

健康チェックリスト、清掃の仕方、危険な野草安全な野草リスト、個体識別カード見本がダウンロードできます。ご自由にご活用ください。

下記のアドレスからジャンプ  
<http://www.tochigi-vet.or.jp/shiikunissi/index.html>



公益社団法人 栃木県獣医師会  
Tochigi Veterinary Medical Association

公益社団法人 栃木県獣医師会  
学校飼育動物委員会

〒320-0032  
栃木県宇都宮市昭和1-1-23

☎0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman\\_02.html](http://www.tochigi-vet.or.jp/activity/chairman_02.html)